

スピリット・アエロシステムズ、エアロストラクチャー事業とシステムエンジニアリングサービスでの共同イノベーションに向け、インフォシスと5年間の協業契約を締結

インフォシスは次世代テクノロジーを活用してスピリット・アエロシステムズの製品開発を支援

バンガロール (インド) – 2022 年 9 月 7 日

次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は、本日、民間航空機、防衛プラットフォーム、ビジネス / リージョナルジェットにおける世界的な大手航空機構造部品製造メーカーの[スピリット・アエロシステムズ](#)との5年間の契約を発表しました。インフォシスはスピリット・アエロシステムズと協働し、民間航空機、ビジネスジェットおよび先進航空機プログラムにおける製品開発および保守・修理・オーバーホール (MRO) サービスに向けて、エアロストラクチャーおよびシステムエンジニアリングサービスを提供します。

この戦略的協働は、16年間という長い期間にわたる両組織の取引関係に基づくものであり、この間にインフォシスは、スピリット社のエアロストラクチャー・プログラム向けに複数の革新的な設計ソリューションを提供してきました。今回のプロジェクトの一環として、インフォシスは設計エンジニアリング、持続的エンジニアリング、システムエンジニアリング、応力エンジニアリング、製造エンジニアリング、修理・保守などを包摂するエンド・ツー・エンドの製品開発サービスを提供します。また、インフォシスは専門知識に基づくエンジニアリングとエンジニアリングの自動化を活用し、価値ストリーム全体で製品開発の高速化を図ります。さらに、インフォシスは極めて効率的な構造設計と堅牢な認証プロセスの確実な実施でスピリット社を支援し、革新的で軽量な、より持続可能性の高い航空機構造および部品の製造に貢献します。

インフォシスの航空宇宙センターオブエクセレンスには、22年間を上回る世界クラスの設計およびエンジニアリング・ソリューションの実績があります。概念化からリリースまでのエアロストラクチャー設計における底深い能力、成熟した複合設計力、エンジニアリングの自動化能力を備えるインフォシスは、グロー

バルな航空宇宙企業トップ 10 社のうち 7 社と協働契約を締結しており、航空機および防衛製造分野をリードするプレイヤーとして高く評価されています。

「スピリット・アエロシステムズでは、設計とエンジニアリングのレベルで自社のサービスの継続的向上を図る能力を備えていることが、競争における差別化要因であると考えています。当社の長年にわたるインフォシスとの協働は、両社が製品開発の重要なステージにおいて共同でイノベーションを起こせる関係性であり、私たちがこれからも品質と耐空性における最高水準を追求し続けることを意味しています。今回の戦略的契約は、両社の強力な関係性を一層強化し、相互のシナジーを活用して、当社の民間およびアフターマーケット事業セグメントの全域で、世界クラスのエアロストラクチャーとサービスの開発を高速化するものです」と、**スピリット・アエロシステムズのエンジニアリングおよびテクノロジー担当上級副社長兼チーフエンジニアである Sean Black 博士**は述べています。

今回の協働に関するコメントとして、**インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼製造業担当グローバル責任者の Jasmeet Singh** は次のように述べています。「今日の航空宇宙・防衛産業の組織は、これまでにないほど急速に、自社のデジタル基盤を考案し直す必要に迫られています。当社はスピリット・アエロシステムズとの戦略的協業を一層深め、設計と製品エンジニアリングの頂点に挑むことで、同社のデジタル・トランスフォーメーションを高速化できることを非常に喜ばしく思います。当社がエアロストラクチャー・エンジニアリングと AI やクラウドなどの次世代テクノロジーに向けて行ってきた投資により、説得力のある価値をスピリット社に提供し、両社の協働を新しいレベルへと高められることを確信しています。」

スピリット・アエロシステムズについて

スピリット・アエロシステムズは、民間航空機、防衛プラットフォーム、ビジネス / リージョナルジェットにおける世界的な大手航空機構造部品製造メーカーです。アルミニウムの専門知識と高度な複合製造ソリューションを有する同社は、機体、一体型翼および部品、パイロン、ナセルを中核的な製品としています。数十年におよぶ設計と製造の専門知識を活用し、最もイノベティブで信頼性の高いサプライヤーとして、軍用エアロストラクチャー、特殊高温素材を供給し、戦場での複雑な重大ミッションの遂行を支援します。また、スピリットは民間およびビジネス / リージョナルジェットのアフターマーケットのサービスも提供しています。米国カンザス州ウィチタに本社を構えるスピリット社は、米国、英国、フラン

ス、マレーシア、モロッコに施設を展開しています。詳細は www.spiritaero.com でご覧になれます。

インフォシスについて:

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、30 万人以上の従業員とともに、人間の可能性を高め、人・ビジネス・コミュニティの次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家として、50 か国以上のお客様のクラウド活用によるデジタル変革への道りを推進します。当社は AI 駆動型コアを利用してお客様の変革を実現し、大規模なデジタル・アジャイルでビジネスに力を与え、常に学ぶ姿勢で、デジタル・スキルの移転を通じてお客様の継続的改善を推進しています。インクルーシブな職場で多様な人材が活躍する、効果的に統率された、環境面で持続可能な組織であることに全力を注いでいます。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊

あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2021年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

インフォシス 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com